

# 平成 27 年度事業報告

## 1. 言語力向上のための事業

### 1) 制度・政策活動

#### ① 消費税軽減税率導入のための活動

##### i. 「出版物への軽減税率の適用を求める集い」

6月3日、衆議院第1議員会館。政府・与党が軽減税率適用の対象品目に対する論議を深めている状況を視野に、文字・活字文化の振興と発展を願う国民の強い意思の表明を目的に開催。約300名が参加した。



##### ii. 「新聞・出版文化を守り、民主社会の未来を語る会—軽減税率は子どもたちへの贈り物である—」

10月20日、衆議院第1議員会館。年末の与党税制改正大綱に軽減税率の新たな制度案を盛り込むことを要求するため、シンポジウムを開催。パネリストには、浅田次郎氏(作家)、郭洋春氏(立教大経済学部教授)、姜尚中氏(東大名誉教授)、柳田邦男氏(作家)を迎え、新聞・出版関係者ほか約300名が参加した。



#### ② 学校図書館活性化のための活動

##### 「学校図書館議員連盟、学校図書館活性化協議会の合同会議」

2016年3月16日、衆議院第1議員会館。平成29年度～平成33年度の次期5か年間の学校図書館図書整備施策に関する地方財政措置に向け、新刊書や共通教材の不足、更新・廃棄の促進など数多の課題解決について話し合うため開催、具体的な取り組みが提案された。超党派国会議員、出版・学校図書館関係者など、約160名が参加。



### 2) 読書基盤づくり事業

#### 言語活動推進フォーラム「ことばを感じよう—ことばの力、未来をつなぐ—」

日本語が美しく表現された絵本の読みがたりや、童謡などをとおして、子どもたちの感性などをはぐくむことを目的に全国5か所で開催。

##### ▼9月12日 島根県松江市・くにびきメッセ [共催:山陰中央新報社]

- ・マジックと音楽と絵本のステージ:大友剛氏(ミュージシャン&マジシャン)
- ・合唱のステージ:松江プラバ少年少女合唱団
- ・おはなしと絵本の読みがたり:宮西達也氏(絵本作家)

参加人数:約320名

▼10月3日 長野市・JAアクティールホール〔共催:信濃毎日新聞社〕

- ・朗読のステージ:青木裕子氏(朗読家)
- ・合唱のステージ:信州大学教育学部附属長野中学校合唱部
- ・講演:柳田邦男氏(作家)

参加人数:約480名

▼11月3日 名古屋市・ウインクあいち〔共催:中日新聞社〕

- ・朗読のステージ:柘植恵水氏(NHK名古屋放送局アナウンサー)
- ・合唱のステージ:名古屋少年少女合唱団
- ・講演:真珠まりこ氏(絵本作家)

参加人数:約250名

▼2016年1月23日 香川県高松市・サンポートホール高松〔共催:四国新聞社〕

- ・朗読のステージ:池田弥生氏(西日本放送アナウンサー)
- ・合唱のステージ:香川オリーブ少年少女合唱団
- ・トークショー:あさのあつこ氏(児童文学作家)&池田弥生氏

参加人数:約250名

▼2月6日 鹿児島県出水市・音楽ホール〔共催:南日本新聞社〕

- ・朗読のステージ:中井貴恵氏(女優・エッセイスト)
- ・合唱のステージ:出水市少年少女合唱団
- ・講演:角野栄子氏(童話作家)

参加人数:約400名



### 3) 読書・体験活動事業

「高校生書評合戦東京都大会」〔共催:東京都教育委員会〕

高校生がお薦めの本を発表し合い、参加者らが一番読みたいと思う本(チャンプ本)を決める「高校生書評合戦」を開催した。

9月27日、都立練馬工業高等学校で行われた予選には、都内の各学校代表生徒244名が参加。投票によりチャンプ本を決め、16名の生徒は10月25日の決勝大会に臨んだ。

渋谷・青少年総合センターで行われた決勝では1名のチャンプ本が決定。このチャンプ本発表者は、2016年1月10日に開催された「全国高等学校ビブリオバトル2015」に出場した。

## 2. 人材育成・能力開発のための事業

### 1) 子ども読書大使の養成事業

「読書と体験の子どもキャンプ」〔共催:国立青少年教育振興機構〕

7月30日から4日間、東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。全国34都県54校の小学校5、6年生100人が参加。子どもたちは野外炊事でカレー作り挑戦したり、印刷博物館や出版社、東京タワーを見学した。最終



日にはワークショップのテーマ「本の良さを伝えよう」の成果をポスターセッション方式で発表した。

## 2) 言語活動・読書推進リーダーの育成

### i. シンポジウム「人を潤す言葉」〔共催：日本経済新聞社〕

9月16日、千代田区・日経ホール。作家・真山仁氏の講演、川村隆氏(日立製作所相談役)、磯崎憲一郎氏(作家)、三浦瑠麗氏(国際政治学者)による「言葉で豊かになる生活・しごと」と題したパネルディスカッションをおこない、550名が参加した。



### ii. 朗読指導者養成講座

朗読を通じた地域の人びとをつなぎ、子どものことばを育てる活動の核になる朗読指導者を養成することを目的に、山根基世氏(アナウンサー)を講師に迎え、毎月土曜日全12回の講座を開講。1期生30名は2016年3月修了。

## 3. 情報提供・広報活動のための事業

### 1) 広報活動

活動実績や活動方針、講演会や研修会等の周知、ホームページ、メールマガジン、会報等で読書フォーラムなどの案内や募集、活動報告を行なった。

### 2) JAPAN/MARC頒布活動

- i. 国立国会図書館の書誌データ「JAPAN/MARC」「JM-BISC」を頒布。公立図書館、一般企業など24施設・法人と契約した。
- ii. 活字文化議員連盟の諮問をうけ「全国書誌情報の利活用に関する勉強会・実務者会議」が発足。25団体にヒアリングを行い4月28日、「勉強会」に答申を提出。

### 3) 読書環境整備フォーラム事業

#### i. 全国リレーシンポジウム「知の地域づくりを考える in 和歌山」〔共催：読売新聞社〕

5月31日に和歌山市・ビッグ愛で開催。片山善博氏(慶應義塾大学教授)と柳田邦男氏(作家)の講演、片山善博氏、柳田邦男氏、立野淑郎氏(和歌山県立図書館長)、渡部幹雄氏(和歌山大学教授・附属図書館長)のパネルディスカッションをおこない、約200名が参加した。

#### ii. 全国リレーシンポジウム「知の地域づくりを考える in 釧路」

〔共催：北海道新聞社 釧路新聞社〕

10月17日に釧路市・ANAクラウンプラザホテルで開催。片山善博氏(慶應義塾大学教授)と阿刀田高氏(山梨県立図書館長)の講演、片山善博氏、阿刀田高氏、蝦名大也氏(釧路市長)、高野敏行氏(釧路公立大学学長)のパネルディスカッションをおこない、約200名が参加した。

